

国語

問題一

- 問一 ①執着 ②はら ③横行 ④据 えられ ⑤縛 る
⑥無邪気 ⑦ほうが ⑧しゅうかい ⑨むく ⑩同病

問二 (例) ひとつの個体としての生き物であること、対人関係の中でひとつの個人であること、社会の中ではひとりの個人であることの三者は、はっきり区別されるべきであるとする観点。

問三 (例) 他者との交流のなかで共存しながら、自身の現在の視点やものの見方を他者の観点とすりあわせて総合していくこと。

問四 X 合理 Y 合理

問五 生命維持という生命的な 合理性

問六 (例) 個々人が集団から距離をとることを可能にする働き。

問七 (例) 優位な立場から対象を見下ろす態度をとるのか、あるいは世界全体から距離をとって、人間の根本的な矛盾や不合理を肯定するのかの違い。

問八 (例) 合理性の中にとどまるためには、自分を非合理だと認める必要があり、そのためにユーモアという自己反省性に基づいた笑いで、他者にも自分にも等しく距離をとる必要があるから。

問九 イ

問十 (出題の意図) 「文章資料を読解分析した上で、論理的展開により、自分の意見を文章表現する能力」を、確認する。

問題二

問一 (1) こう (2) ここにおいて (3) なく

問二 ①ア ②(例) 数々の労役を課しているのに、さらに新しい工事を始めたこと。

問三 (例) 鄒への道路工事が完成したら、止めることにしよう。

問四 不若息之

問五 オ

問六 ウ

問七 (例) 鄒の長塗(道路)の工事を、止めるにこしたことはありません。

問八 夫子 イ 寡人 ア

問九 ① 不 知 得 罪 于 百 姓 深 也
レ 下 ニ 上

② (例) 何度も労役を百姓に課し、彼らを苦しめていること。

問十 (例) 景公が道路工事を中止した。

問題三

問一 ① (例) 大切に(大事に) ② (例) よく見極める、通じる

③ (例) しっかりした大人になっていないので ④ (例) 見る手段があったらよいのに

⑤ (例) 何を隠すことがあるうか(隠すべきではない)

問二 てんじょうびと

問三 (あ) ウ (い) イ (う) ウ (え) エ (お) イ

国語

問四 (1) ウ (2) イ (3) ウ

問五 (例) 夫婦の、男子でも女子でもよいので子供が生まれてほしい(授かりたい)という願い。

問六 (例) 居場所を知られると恥ずかしい、と思ったのだろうか

問六 (例) 個々人が集団から距離をとることを可能にする働き。

問七 (例) 関白殿が、あてのないものを頼りにして、行方のわからない者(相手の女性)を探すような行為。

問八 イ

問九 ① (例) 相手の女性の正体が葛城山の天狗か何か(妖怪の類)なのか、あるいは本当に葛城山付近の住人なのか、といった意味。

② (例) 「よそにのみ」の歌の句であり、白雲のようにあてのない存在という表現が、却って身をやつした高貴な女性の謙遜であるような意味として理解された。

問十 エ

問十一 オ

問十二 オ